

# 自衛官の教育

## 自衛隊の教育・訓練の目的

自衛隊の教育・訓練は、わが国の防衛という任務を遂行するため、平素から指揮官をはじめ各隊員が高い資質と能力を持つとともに、部隊としても高いレベルで、実力をいつでも発揮できる態勢を保持することを目的としています。

自衛隊の教育・訓練は、個々の隊員に対する教育・訓練、部隊としての訓練に大別されます。隊員に対する教育・訓練は、「基本教育」と「練成訓練」に区分しています。

## 教育の区分

部隊の訓練は、まず小さな単位の部隊、それから大きな単位の部隊へとだんだん規模を拡大しつつ練度評価に応ずる訓練を積み重ね、組織として総合的に能力を発揮できることを目標に行われています。

「基本教育」は、隊員として必要な資質を養うとともに、部隊の一員として職務遂行の基礎となる知識や技能を修得させることを目的としています。「練成訓練」は、精強な部隊を作り上げることを目的としています。自衛官の教育は「土の教育」「曹候補者などの教育」「曹の教育」「幹部候補者の教育」「幹部の教育」に区分できます。

## 土の教育

自衛官候補生として採用されると、「自衛官候補生教育」を経て、3ヶ月後に2土として任用され、陸・海・空土「特技課程」の教育を受けます。

「自衛官候補生教育」は、いわば自衛隊の入門コースであり、自衛官として任用される前に基礎的な知識や技能を修得させるもので、陸・海・空自衛隊の教育隊で約3ヶ月間行われます。

新隊員はここで、自衛官としての心構え、生活や勤務に関することなどを学び、射撃や戦闘動作の基礎的な訓練を受け、体力を練成します。

「特技課程」は自衛官候補生教育を修了した後、それぞれの専門分野が決められ、部隊や学校などで、それに必要な知識や技能を身につけるための教育で、期間は数週間から約1年間まで、さまざまです。

## 曹候補生などの教育

曹候補生などへの教育は、自衛隊の中堅の曹の養成を目的とした「生徒課程(陸自)」「一般曹候補生課程」「看護学生課程(陸自)」および「陸曹候補生課程」「初任海・空曹課程」などがあります。

高等工科学校生徒(陸自)は、中学卒業者を対象とした制度です。約4年間の教育を修了すると3等陸曹に昇任します。

一般曹候補生は、任期制隊員として入隊する自衛官候補生とは異なり、はじめから曹候補生(非任期制隊員)として採用される土です。

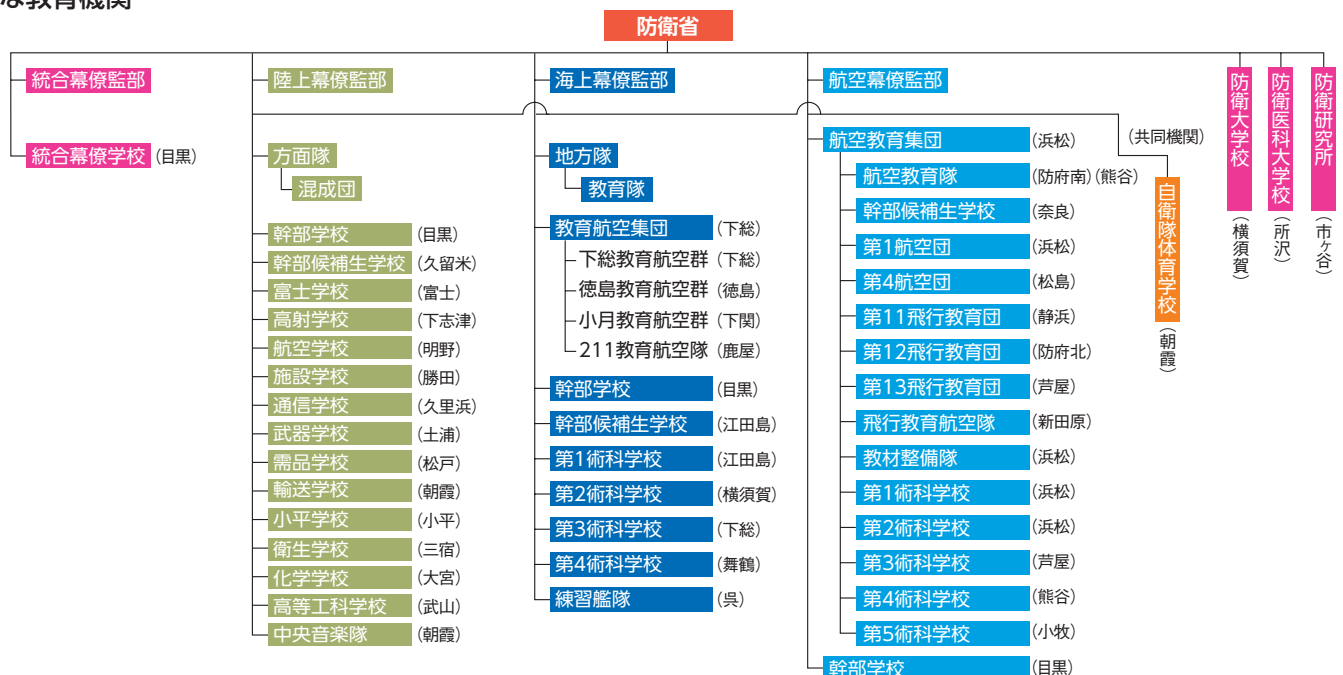
陸曹候補生課程、初任海・空曹課程では、非任期制隊員と選抜試験に合格した任期制隊員が曹候補生として指定され、9～10週間の教育が行われます。

## 曹の教育

曹の教育には、陸上自衛隊では初級および上級陸曹特技課程、陸曹上級課程、ならびに将来パイロットになる陸曹航空操縦課程(3曹時に選抜、80週)などがあります。

海上自衛隊では中級および上級海曹特技課程などがあり、航空自衛隊では上級特技課程、術科特修課程などがあります。いずれも選考された者に対し、必要な特技を習得させるために陸・海・空それぞれの教育部隊や職種・術科学校で、数週間から最長で3年間の教育を受けます。

## 主な教育機関



(※陸自幹部学校は平成30年3月に教育訓練研究本部になります。)

■ 幹部候補生などの教育

幹部自衛官(3尉以上の自衛官)になるためには、主として防衛大学校・防衛医科大学校を卒業、一般大学などから幹部候補生採用試験に合格、部内から選抜試験に合格して幹部候補生となる3つのコースがあります。

幹部候補生に対する教育は、陸・海・空それぞれの幹部候補生学校で初級幹部として必要な資質、基礎的知識・技能、指揮官として必要な統率力、近代的装備体系に適応した戦術や部隊の運用などを身につけることを目的としています。幹部候補生学校での教育訓練は、幹部自衛官になるための登竜門です。

幹部候補生課程の期間はコース別、任用別に陸・海・空それぞれ約20週間～約1年間です。

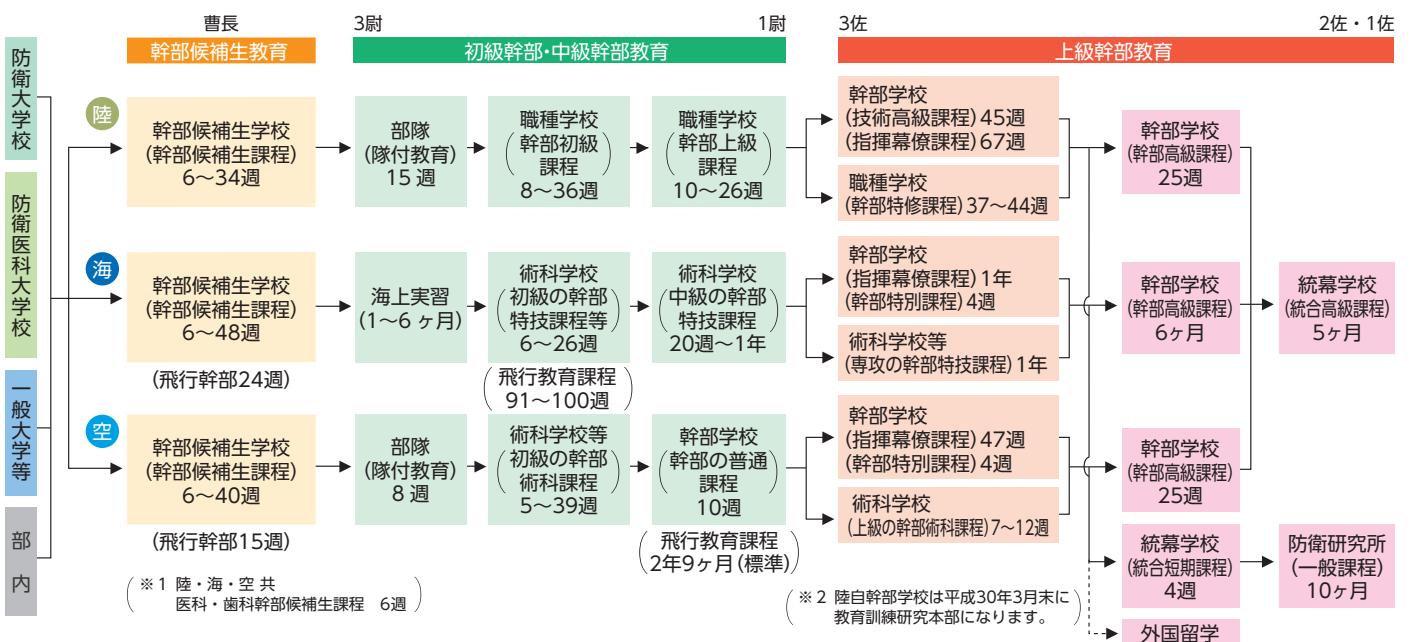
■ 幹部の教育

幹部自衛官の教育は、初級・中級・上級幹部教育に大別できます。それぞれの段階別、分野別に専門的な職務、また自衛隊の上級部隊指揮官、上級幕僚としての職務を遂行するために必

要な知識、技能を身につけることを目的としています。

幹部教育は陸・海・空の各段階、各分野でさまざまな課程が設けられていますが、陸上自衛隊では、幹部初級・上級課程、指揮幕僚課程、技術高級課程、幹部高級課程など、海上自衛隊では初級・中級幹部特技課程、指揮幕僚課程、幹部高級課程など、航空自衛隊では初級の幹部術科課程、上級の幹部術科課程、指揮幕僚課程、幹部高級課程などがその代表的なものです。これらの教育は、陸・海・空それぞれの教育機関の「最高学府」ともいえる幹部学校や専門分野ごとに設けられている術科学校で行われます。平成18年度からの「統合幕僚監部」新設に伴い、「統合教育」の充実が実現し、陸・海・空各幹部高級課程の学生は、それぞれ約25週の高級課程教育修了後、統合幕僚学校の統合高級課程(5ヶ月)を合わせて修学することになりました。また、防衛研究所一般課程(10ヶ月)に進む者は、入所前に4週の統合短期課程で学ぶこととなりました。

幹部自衛官および幹部候補生の教育体系の概要



曹士自衛官等の教育体系の概要

